

学校経営方針

教育方針

- ・人権尊重
- ・自立活動の視点と質の向上
- ・ICTの利活用
- ・一貫性のある教育課程の編成
- ・心身の健康と安全の保障

経営方針

- ・不祥事根絶
- ・対話と協働の組織づくり
- ・働き方の見直し
- ・教職員の研鑽
- ・信頼される学校づくり

【スローガン】

特別支援の専門性と地域の輪で自分らしく輝く地力を支え抜く。*

願い

子どもの輝きを信じ、深い理解をもって子どもの力を信じ抜くこと。自己を肯定し、安心して学べる場を保障すること。子どもを取り巻く全ての人々、地域社会と共有したい。

教育目標

社会参加に向けて、ひとりひとりの児童生徒が豊かに生活する力を育む。

めざす姿

自ら考え挑戦し、気づきを力に今も将来も学び続ける子どもを育てる。

重点施策の全体象

3つの重点 めざす子ども像を描き、将来の幸福に必要な力を育む！



1 業務の最適化

智恵と工夫で「やりがい」を最大化

- ・減らす、併せる、代替する
- ・チームで支え合う風土の醸成
- ・相手意識高く報連相の徹底を



2 専門性の発揮

子ども理解と授業改善の連動

- ・深い子ども理解
- ・好きや得意、困難さを捉える
- ・振り返りからの授業改善
- ・自立活動の充実（認知特性、行動コントロールやレジリエンスの育成



3 一貫した支援体制

地域・将来とつながる切れ目のないパートナーシップ

- ・将来像の再考と共有
- ・学舎、保護者、地域との連携
- ・CSと授業の連携、地域の資源の開拓と積極的な活用

■次年度に向けて

今も将来も幸せに暮らすことができる子どもを、地域社会と共に育みたい。子どもを信頼し良さを大切にする特別支援教育で、今も将来も課題解決に向けて思考し続ける子どもを育てていきます。

例) 先生がそばにいらなくても生活の中で「どうしたらいいかな?」「やってみよう!」と考えられる姿

- ・困ったときに、自分なりの方法で解決しようとする
- ・新しいことに会ったとき、「やってみよう」と思える
- ・失敗した時、支援を受けながら続けようとする
- ・自分の良さや成長に気づき、次の一歩を踏み出せる

